

Ginkgo flower いちょうの花

中原小学校校長室だより 第10号 令和3年1月29日

『自分史』を綴ろう！

冬休み前集会で、子どもたちにこんな話をしました。

「みなさん、こんにちは。いよいよ明日から19日間の冬休みになります。

ぎんなん祭をはじめ、遠足、持久走大会、プレゼン大会等、多くの学校行事がありました。後期、第3ステージを振り返ることができたでしょうか？過去をきちんと振り返ることは、これからの未来を豊かにします。

『自分史』という言葉聞いたことはありますか。自分の歴史という意味です。いろいろな状況を生き、さまざまな人間関係の中にあつて、たくさんの気持ちを体験してきた、自分というひとりの人間。そこには、必ず物語やドラマがあったはず。『自分が監督・脚本・主役』の作品が『自分史』です。その物語と自分を、つくるために振り返りをしてほしいのです。できれば、文章として綴ってほしいと思います。日記とは、少し違います。第3ステージ、それぞれの場面を思い出して、思ったことや考えたことを書いてみるのです。必ず、成長につながります。

新型コロナウイルス感染症をはじめ、病気や事故には、くれぐれも気をつけてください。元気、元気、元気の森校長先生からのお願いです。これで、お話を終わります。」



エール（声援）をおくります！

冬休み明け集会で、子どもたちにこんな話をしました。

「みなさん、おはようございます。そして、あけまして、おめでとうございます。いよいよ今日から第4ステージになります。冬休み中は、新型コロナウイルス感染症をはじめ、病気や事故に気をつけることはできましたか？まずは、生活のリズムを整えましょう。1年間のまとめとなるステージです。学びの成果を確かめ、自分の成長をしっかりと感じとることができるようにがんばりましょう。できれば、冬休み前集会で話した『自分史』を綴ってほしいと思います。

昨年、私の妻と娘が『連続テレビ小説エール』を録画して見ているので、一緒に見ていました。6年生と一緒に、修学旅行で学んだことを振り返ることができました。歴史を学ぶうえで、大事にしたいことがあります。その場面に行くことができ



ないからこそ、事実を学び、イメージすることです。命と人権を学ぶとき、大事にしたいことがあります。自分を重ね合わせ、自分のこととして考えることです。ちょうど「長崎の鐘」がつくられたエピソードが描かれました。イメージをふくらませ、当時のことを考えることができました。主題歌となった「星影のエール」を知っていますか？

**星の见えない日々を 超えるたびに 互い照らすその意味を 知るのでしょ
う
愛する人よ 親愛なる友よ 遠くまで 響くはエール**

愛する中原小学校のみんなに、エールをおくります。それでは、元気、元気、元気！これで、お話を終わります。

プログラミング教育を行っています。

プログラミング教育は、これからの社会を生きる子どもたちがグローバル化や情報化する予測不可能な社会で幸せに生きるために導入されました。重視されているのは、プログラミングを学ぶことによって身につく論理的に考える力となります。写真は先日、3・4年生で行われた授業の様子です。タブレットを使って、キャラクターを動かすプログラムをつくりました。子どもたちは興味津々で、楽しそうに取り組んでいました。



薬物乱用防止教室が開かれました。

5・6年生で薬物乱用防止教育が開かれました。学校薬剤師である佐藤様に講師を務めていただき、身近にある薬を正しく使うことの大切さを教えていただきました。薬は病気を治そうとする体に加勢をするため、量や時間を相談しながら使ってほしいという内容でした。子どもたちは関心をもって臨んでいました。薬剤師についての質問もしていました。

